資料２－１

東北地方太平洋沖地震対応状況等の報告

JESCO 北海道事業所

３月 11 日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震に関して、JESCO 北海道事業所が取りました対応状況等について報告いたします。

１．北海道事業所の地震に関する対応について

(1)　地震計：電気室に地震計が３台設置されており、何れか１台が 40 ガル（震度４相当）を検知すると警報を発し、何れかの２台が 120 ガル（震度５相当）を検知すると非常停止が掛るように設定しています。

(2)　当施設の地震警報は今回ありませんでした。

２．対応状況等

３月１１日(金)

時　刻	対　応　状　況　等
14:46 頃	地震発生 ・ 地震発生時の手順に従って、中央制御室から館内放送で「施設の点検」を指示。 ・ 運転会社の担当者は設備点検に向かった。 ・ 公共放送で震源地、震度等を確認した。
14:50 ～15:26	地震発生直後の現場点検。結果は以下のとおり ・ 屋外施設（屋外タンク、非常発電室等）：異常なし ・ 蒸留エリア、液処理エリア、真空超音波エリア：異常なし ・ 撹拌洗浄エリア、排気ファンエリア、用役設備：異常なし ・ 解体エリア（大型トランス、小型トランス、コンデンサ）：異常なし（但し､遮蔽フード内は作業スペースからの目視及び ITV による確認） ・ 真空超音波エリアで地震の揺れにより、洗浄液が床に飛散したことを現場作業員が確認
15:10 頃	作業現場からの退避 ・ 余震が続くため JESCO より作業現場からの待避を指示
15:30	対策本部設置 第１回対策本部会議 ・ 胆振地方中東部の震度４及び大津波警報の発令を確認し、北海道事業所内に対策本部を立ち上げ（本社等関係部署連絡） ・ 帰宅指示:大津波警報を受け、当直作業員及び事務系社員へ帰宅指示 ・ 保安措置：安全上必要な排気処理設備、用役設備を除き、施設の運転を安全に停止するよう指示 ・ テレビ・ラジオ・インターネットによる津波情報等の収集

15:30 ～18:10	中央制御室での停止操作 ・ 解体処理：中断 ・ 蒸留設備：立ち下げ（23:50 に全停止） ・ 真空超音波設備：停止 ・ 攪拌洗浄設備：停止 ・ 真空加熱分離設備：冷却工程に移行 ・ 液処理設備：反応槽 1-A のみ運転（23:32 に終了） ・ 熱媒ボイラ：Ａ号機（21:17 停止）、Ｂ号機（23:56 停止）
16:00 頃	胆振総合振興局、室蘭市、室蘭市消防本部へ真空超音波エリアでの漏洩等の状況を電話で連絡
18:00	第２回対策本部会議 ・ 余震の収まりを受けて総点検の実施を決定 ・ 施設を６つに区分し、JESCO２名及び MEPS２名で現場を点検
18:10 ～19:00	現場点検：JESCO・MEPS 合同の現場点検を実施 ・ 遮蔽フード内は作業スペースからの確認 ・ 漏洩検知器のセンサーは、すべて検知が無いことを確認。 点検結果：（　）内は点検完了時間 ・ 蒸留： 異常なし（18:54） ・ ４Ｆ設備（排気処理設備、ｵﾝﾗｲﾝﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ、二次廃棄物保管室） ：異常なし（18:54） ・ 屋外設備：異常なし（18:57） ・ 液処理・SD 室：異常なし（19:00） ・ 排気：異常なし（19:00） ・ 前処理：真空超音波 4,5 槽下の床上に洗浄液（発生直後の点検で確認済み）、他異常なし（19:08）
19:10	対策本部解散 ・ 異常が確認されなかったことから対策本部を解散

３月１２日(土)

時　刻	対　応　状　況　等
9:00 ～11:50	現場点検・漏洩対応等 ・ 施設内、特に遮蔽フード内の漏洩状況確認：異常なし ・ 超音波洗浄内の漏洩箇所の拭き取り：完了。床が小範囲濡れた程度の漏洩で、洗浄槽からではなく槽間にある液だれ防止用受け板に滞留していた洗浄液が飛散したものと確認
10:50	胆振総合振興局、室蘭市、室蘭市消防本部、室蘭労働基準監督署メールにて状況報告
11：25	室蘭労働基準監督署次長から状況確認電話
11：50～	保安運転継続
12：00 頃	消防本部、室蘭市から状況確認電話

３月１３日(日)

時　刻	対　応　状　況　等
終　日	施設は保安運転のみ継続

３月１４日(月)

時　刻	対　応　状　況　等
9:30 ～15:30	<u>設備動作確認及び立上作業の実施</u> ① 解体関係 クレーン点検、単体機器確認、油圧ラインチェック 洗浄溶剤通液確認（第１再生溶剤） ② 撹拌洗浄 機器単体動作確認実施（供給機反転機、リフター試運転） ：異常なし ③ 真空加熱炉 搬送設備、減容圧縮機試運転：異常なし 処理終了で停止した 1,4,5 号炉については払出後、処理開始（20:43～） ④ 自動倉庫関係 動作確認の結果：異常なし 荷捌装置に収納されていたコンデンサ：転倒無し その他カゴ類の収納状況：異常なし ⑤ 蒸留関係（第１洗浄溶剤系） 9:15～10:00 天井裏配管の漏洩等異常の有無の確認 10:20 頃から第１再生溶剤系の蒸留塔を立上(～21:30 頃) ⑥ 熱媒ボイラ 11:06 Ｂ号機点火・昇温開始 ⑦ 液処理 地震直後に処理を中断していた液処理(1-A)の再開(15:30) 処理終了後の後処理（水を注入して余剰ＳＤ除去）の実施（19:12～23:59）

３月１５日(火)

時　刻	対　　応　　状　　況　　等
9:30 ～15:30	設備動作確認及び立上作業の実施 ① トランス解体処理再開（9:00～） ② コンデンサ解体 油圧系配管チェック及び機器動作確認 ③ 洗浄設備（撹拌洗浄、超音波洗浄） 槽内点検及び動作確認 ④ 蒸留関係 8:50 から第 2 再生溶剤系の蒸留塔立上（～14:00） ⑤ 液処理 15:00　反応槽 2-A にて処理開始

３月１６日(水)

時　刻	対　　応　　状　　況　　等
8:00～	処理物の受け入れを再開
8:00	コンデンサ解体を含む全ラインの処理再開